

様式3

吹 田 市 長 あて

※注1
事業所

氏名 独立行政法人都市再生機構 西日本支社
理事・支社長 高原 功
電話 (06) 4799 - 1806

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針	1. 環境にやさしいまちや住まいをつくれます ①都市の自然環境の保全・再生に努めます ②まちや住まいの省エネルギー化を進めます ③資源の有効利用と廃棄物の削減に努めます ④まちや住まいの安全・安心と快適性を確保します ⑤環境に配慮したライフスタイルを考えます 2. 環境に配慮して事業を進めます ①環境負荷の少ない事業執行に努めます ②環境に関してコミュニケーションを深めます
----------	---

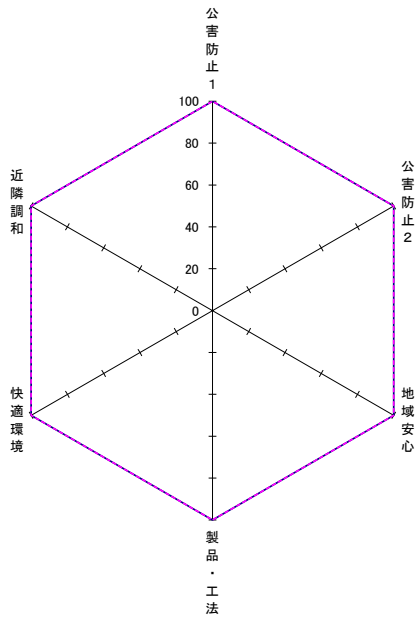
当該事業における環境まちづくり方針	機構の環境方針を踏まえ、環境負荷の少ない事業執行に努めます。
-------------------	--------------------------------

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施率	100	パーセント	実施した・一部実施したの項目数	=	53
	(小数点第2位以下切り捨て)		該当なしを除いた項目数		53

---: 方針, —: 実施報告書



実施報告書	公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	15	5	3	5	5
方針	20	15	5	3	5	5
	20	15	5	3	5	5

主な実施内容

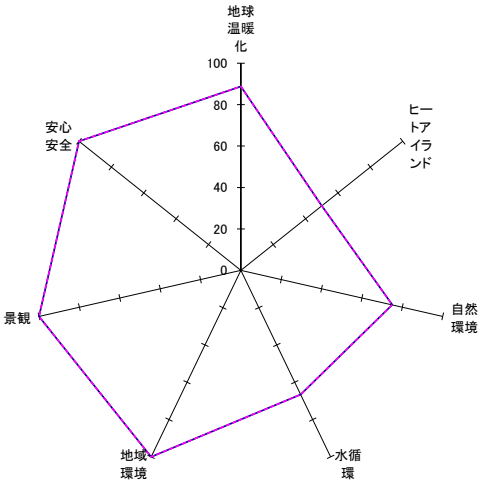
工事関連車両であることを車両に表示しました。
建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率	87.8	パーセント	実施した・一部実施したの項目数	=	36
(小数点第2位以下切り捨て)			該当なしを除いた項目数		41

---:方針, -:実施報告書



実施報告書	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	8	1	6	2	10	6	3
	9	2	8	3	10	6	3

方針	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	8	1	6	2	11	6	3
	9	2	8	3	11	6	3

主な実施内容

- (1) 省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入 CO2削減量 90.7 t-CO2/年

導入内容

住戸、住棟に手元止水付シャワー水洗269台、潜熱回収型ガス給湯器269台、エネルックリモコン269台、台所水栓に水優先吐水機構269台、便器にⅡ型便器269台、LED照明1,596台(住戸専用部:5台/1戸、共用部・廊下:1台/戸)、集会所に潜熱回収型ガス給湯器1台、従来より高効率なエアコン5台を採用しました。
- (2) 緑地面積 緑化率 27.2 % 条例基準分 25.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

緑化率に換算されない緑地として、敷地内に芝地(734.8㎡)を設けました。
- (3) 雨水利用 雨水貯留量 230.3 t うち雨水利用量 t

利用目的 ☐ 植栽水やり ☐ トイレの流し水 ☐ 洗車 ☐ その他 ()
- (4) 上記以外の主な実施内容

ペアガラスを採用し、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。(住宅性能表示制度・断熱等性能等級4)
地域のシンボルとなっていた樹木で保存可能な樹木は保存し、既存の植生や地形を極力活かした計画としました。
敷地西側の広場の一部等に透水性舗装(581㎡)を行いました。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容		修正後のチェック内容
89	実施した		該当なし

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)

○団地内案内板等の設置計画について、環境資産の継承を目指したデザイン計画や、可能な限り周辺事業との調和や調整に努めました。

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害を防止します。		
建設機械		
1 低公害型建設機械の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
2 低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	できる限り低燃費型建設機械を使用しました。
3 アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
4 環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5 稼働台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6 工事の平準化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
7 機械類の整備点検	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両		
8 低公害、低燃費車の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両をできる限り使用しました。
9 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守しました。
10 工事関連車両の表示	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定しました。
12 建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
13 通勤等で利用する車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14 土砂の積み降ろし時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15 タイヤ洗浄	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に配慮しました。
17	場外待機の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転に努めました。
工事方法 騒音・振動等			
21	防音シートなどの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設作業時は、仮囲いと養生シートを設置し、解体作業時は、仮囲いと防音シートを設置しました。なお、必要に応じて防音シートや防音パネルの設置等、さらなる防音対策を行いました。
22	丁寧な作業	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん・アスベスト			
25	粉じん飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への粉じん飛散を防止するため、解体・掘削作業、土砂等の堆積場の設置を行った際は、散水等の粉じん飛散防止対策を行いました。
26	アスベストの調査など	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建築物などの解体の際は、アスベストの使用の有無を調査を行い、アスベストを含有する建材が存在したため、調査結果を表示した標識を近隣住民の見やすい位置に設置し、市長にも報告しました。
27	アスベスト飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスベストを含有する建築物などの解体の際には、確実な飛散防止対策を行いました。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下			
28	濁水や土砂の流出防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
29	塗料などの適正管理及び処分	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分しました。
30	土壌汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	法令に基づく地歴調査・土壌汚染調査の結果、汚染がないことを確認したため、該当しませんでした。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
31	地盤改良時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。
32	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺地盤、家屋などに極力影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭・廃棄物			
33	アスファルト溶解時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスファルトを熔融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対策を行いました。
34	現地焼却の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
35	解体時の環境汚染対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	解体を伴う工事の際は、保管されているPCB使用機器、空調機器などに使用されているフロン類などやその他有害廃棄物の状況を工事前調査し、環境汚染とならないよう適正な処理を行いました。
36	仮設トイレ設置時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレを設置した際には、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を行いました。
地域の安全安心に貢献します。			
37	地域との連携における事故の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。
38	児童などへの交通安全の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
39	夜間や休日の防犯対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
40	児童などへの見守り、声かけ	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	特に常駐警備員が、登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどを行いました。
41	地域の防犯活動への参加	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に参加しました。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
42	エネルギー消費の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率のよい機器の利用などにより、工事に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
43	残土発生の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。
44	廃棄物の減量	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。
快適な環境づくりに貢献します。			
景観			
45	仮囲い設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
46	仮設トイレ設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、人通りの多い箇所は避けて設置しました。
周辺的环境美化			
47	周辺道路の清掃	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いました。
48	場内整理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和			
49	打ち水	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夏期において水道水を確保し、周辺道路などに打ち水を行いました。
地域との調和を図ります。			
工事説明・苦情対応			
50	工事内容の事前説明及び周知	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせしました。また、解体工事を行った際には、市条例に基づき、事前に工事の概要を表示した標識を設置しました。
51	苦情対応	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮			
52	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	吹田市立高野台小学校及び吹田市立高野台中学校に対して工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明するとともに、施設での行事や利用状況に配慮した工事計画にしました。
53	騒音、振動などの配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	計画地から離れた位置ではありましたが、吹田市立高野台小学校及び吹田市立高野台中学校に対して騒音、振動などに特段の配慮をしました。
周辺の事業者との調整			
54	複合的な環境影響の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。		
55 大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう努め、CASBEE B+(後工区)、A(先工区)を取得しました。その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示しました。
56 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)設計	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	戸建住宅でないため、該当しませんでした。
57 高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	住戸、住棟に手元止水付シャワー水洗269台、潜熱回収型ガス給湯器269台、エネルギーリモコン269台、台所水栓に水優先吐水機構269台、便器にⅡ型便器269台、LED照明1,596台(住戸専用部:5台/1戸、共用部・廊下:1台/戸)、集会所に潜熱回収型ガス給湯器2台、従来より高効率なエアコン5台を採用しました。
58 再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	維持管理等の面から実施しませんでした。
59 エネルギー効率の高いシステムの導入	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	潜熱回収型ガス給湯器(熱効率95%以上)を採用。(269台) また、集会所には潜熱回収型ガス給湯器1台(熱効率95%以上)、従来より高効率なエアコン(APF5.7～7.1)計5台を採用。
60 エネルギーを管理するシステムの導入	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギーリモコン(住戸内に使用量及びCO2排出量が表示される給湯リモコンを採用)269台を採用しました。
61 冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器)を設置した際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないように設計しました。
62 建築物のエネルギー負荷の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ペアガラスを採用し、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。 (住宅性能表示制度・断熱等性能等級4)
63 長寿命な建築物の施工	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	耐久・耐火・耐震性に優れた鉄筋コンクリート造を採用し、建築物の長寿命化を図りました。(住宅性能表示制度・劣化対策等級2)
64 環境に配慮した建設資材などの製品の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排水・通気管は塩化ビニルのリサイクル材を活用した発泡三層管を採用しました。 エコマテリアルケーブル(鉛やハロゲン含有しないため燃焼時に有害なダイオキシン等が発生しない)を採用しました。
ヒートアイランド対策を行います。		
65 建物屋根面、壁面の高温化抑制	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	維持管理等の面から実施しませんでした。
66 地表面の高温化抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	緑化率に換算されない緑地として、芝地(734.8㎡)を確保しました。
自然環境を保全し、みどりを確保します。		
67 動植物の生息や生育への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	敷地南側の既存桜並木を植え替えるなど、事業計画地に隣接する緑地と連続して緑地を配置し、生物の生息空間の形成に努めました。
68 地域のシンボルツリーの保全	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	北側道路際の地域のシンボルとなっていた樹木であるケヤキ(1本)を保存しました。
69 既存の植生の保全	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現況樹木と当該事業計画との整合を図り、既存植栽であるケヤキ(3本)とシラカシ(1本)を残し、保全しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
70	地域に応じたみどりの創出	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	敷地南側の既存桜並木を植え替えるなど、事業計画地に隣接する緑地と連続して緑地を配置し、良好な景観や生物の生息空間の形成に努めました。
71	駐車場緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	維持管理等の面から実施しませんでした。
72	屋上緑化など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	維持管理等の面から実施しませんでした。
73	法面緑化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	既存法面に対して78.8㎡緑化を行いました。
74	植栽樹種の選定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定しました。
水循環を確保します。			
75	水資源の有効利用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	水質の維持管理が困難なことから実施しませんでした。
76	雨水流出を抑制する施設の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	事業区域の面積に応じて雨水流出を抑制するために、雨水貯留槽(貯留量230.3t)を設置しました。
77	雨水浸透への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	敷地西側の広場の一部等に透水性舗装(581㎡)を行いました。
地域の生活環境を保全します。			
大気・騒音・振動等			
78	騒音や振動を発生させる設備設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電気室やポンプ室など騒音を発生させる設備の設置においては、設置場所の配慮や壁の遮音性を確保するなど騒音・振動対策を行いました。
79	住宅における防音サッシ等の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	幹線道路や鉄道による騒音が考えられる箇所には、遮音等級(T-1等級)の防音サッシを設置しました。
80	駐車場の配置計画時の配慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の設置については、住居にできる限り隣接しない計画とするなど近隣に配慮した計画としました。
81	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、換気扇、排気口の位置、廃棄物置き場の構造などに配慮しました。
82	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	該当機器の設置がないため、該当しませんでした。
83	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外照明や広告照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制しました。
84	建築資材による光の影響の考慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建築資材(ガラス)による太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮しました。
85	環境に配慮した塗料の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
86	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	周辺に騒音等の影響を及ぼす施設は建設いたしません。(共同住宅のみ)

取 組 事 項		実 施 の 有 無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)				
87	日照障害対策	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明しました。また、できる限りその軽減する計画としました。
88	電波障害の事前把握及び近隣説明	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
89	電波障害発生時の改善対策	☐ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	近隣への電波障害は発生しなかったため、該当しませんでした。
90	プライバシーの配慮	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	住戸壁面が直接道路側に面する住棟妻面の窓ガラスは型板ガラスとし、建物周辺および妻住戸居住者のプライバシー配慮について努めました。
景観まちづくりに貢献します。				
91	地域への調和	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。
92	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行いました。
93	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画と設計を行いました。
94	重点地区指定に向けた協議	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	1haを超える対象区域ではありませんが、市の所管から当区域を重点地区に位置付けたいとの要請を受けて、景観形成地区に指定されました。
95	景観形成基準の遵守	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
96	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
安心安全のまちづくりに貢献します。				
97	歩行者が安全に通行できる工夫	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	歩道部分と車道部分で仕上げの色を分けることで、歩車分離を行いました。
98	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮した整備	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	敷地内に防災倉庫及びマンホールトイレ用の人孔を設置しました。
99	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☒ 実施した	☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	オートロックシステムを採用し、セキュリティエリアを明確に区分しました。また、エレベータかご内、自転車置場等の死角となる部位に防犯カメラを設置しました。